

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

看護学部のある私立大学を探していたら、同志社女子大学がでました。  
詳しく調べると、設備がとても充実しているということを知り、この大学に行けば  
良い看護師になれる、思ったからです。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

## 〔1学期〕

とにかく、苦手教科をつくらないようにしていました。勉強以外のことで、まだ  
忙しくている時期だったので、土日の勉強はできていませんでした。  
その分予習・復習や宿題は真面目に取り組み、学校の授業では  
必ず集中するようにしました。

## 〔夏休み〕

少し苦手で、自分だけで勉強するのが難しいと感じていた教科は、  
学校の課外授業をとって、先生に教えてもらいながら勉強しました。  
家では勉強に集中できないと思ったので、ほとんど毎日学校で下校時刻まで  
勉強していました。学校では、一所懸命に勉強しているたくさんの友達の姿に  
刺激を受けることができ、私も自然に勉強を続けることができました。

## 〔2学期～入試直前〕

この時期は、過去問を何度も解き、大学特有の問題に慣れるようにしました。  
でも、私にとっては、なかなか成績が伸びず、苦しい時期でもあったので、  
何度も言諦めたくないので、毎日勉強していると疲れすぎて眠くなったりすること  
もありました。周りの友達もそんな状況にある子が多かったのですが、  
一緒に励まし合いながら頑張りました。自分一人で集中して勉強した方が  
良いのでは、と思う人もいますが、状況によっては、友達と勉強するのも  
1つの手段だと思います。友達のおかげで乗り越えられた時期でした。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私が、一年間の受験生活を通して大切だと思ったのは、メリハリをつけることです。  
勉強ばかりしているとストレスが溜まり、集中力も続かなくなってしまうので、  
学校の行事や部活動には積極的に参加して、全力で楽しみ、気分転換するよう  
にしました。そうすると、自然に勉強にも力を入れることができました。  
また、手帳を毎日書いて、勉強時間や睡眠時間、自由時間などを管理し、  
自分の生活を知ることによって、健康に気をつけていたことで、体調を崩すことはありませんでした。  
スマートフォンは、よく使ってしまうアプリなどは消して、あまり使わないようにしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験勉強を最後まで続けるのは、本当に大変だし、辛いこともたくさんあると思います。  
しかし、合格することができたら、それ以上ないという程の喜びを感じられます。  
勉強をやめたくなくなることもあると思いますが、悔いが残らないように頑張ってください。  
応援しています。